

国家戦略特区に向けた関西の提案

平成25年7月

関西広域連合

現在、政府におかれては、国の成長戦略に基づき、内閣総理大臣主導の下、これまでとは次元の違う「国家戦略特区」の創設に向けた具体的な制度設計等の検討が進められている。

同特区は、国の経済成長に大きなインパクトを与えるものであって、国・地方自治体・民間の各主体が三位一体となって取り組むプロジェクトを対象とし、その特区数を限定し大胆な規制改革と税制措置を講じるとされている。

関西地域にあっては、内外から高い評価を受けている大学や研究機関等の最先端科学技術基盤が多数集積し、密接な連携のもと世界レベルの研究が進められるとともに、先端医療分野をはじめとした様々な実用化、産業化を目指したプロジェクトが進められている。

このため、国家戦略の立場から、関西における再生医療をはじめとする先進医療分野や新エネルギー分野などにおける優れたポテンシャルを一層強化し、大胆な規制改革や税制措置を集中的に講じることで、研究成果の実用化を加速し、国際的なイノベーション拠点の形成を図ることは、我が国全体の経済成長に大きく貢献できるとともに新たな社会システムの構築につながるものと確信している。

具体的には、①医療等の国際的イノベーション拠点の整備、②ビジネスのしやすい環境づくりとして「官業の民間開放の先駆的な推進（規制改革、制度提案）」に関する関西の取組は以下のとおりであり、政府におかれては、プロジェクトや地域を選定する際には、こうしたプロジェクトの集積という関西の特徴が活かされる形で、国家戦略特区を選定することを強く要請する。

平成25年7月

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
委員	大阪府知事	松井一郎
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門
委員	京都市長	門川大作
委員	大阪市長	橋下徹
委員	堺市長	竹山修身
委員	神戸市長	矢田立郎

関西が提案するプロジェクト

1 提案の背景

関西は、京阪神を中心とした大都市機能と共に、幅広いものづくりの産業機能の集積を有し、民が主導して成長を遂げてきた伝統と気風を持つ。また、京都・大阪・奈良の歴史や文化、阪神間の外国人向けアメニティ、さらに国際水準の学術・研究基盤を有し、“国際的なビジネスのしやすい環境と居住、教育、医療環境”の整備を進めることで、大きなポテンシャルを活かし、さらなる発展が期待できる地域である。

とりわけ、ライフ・イノベーション分野では、関西が有する iPS 細胞研究をはじめとした世界レベルの研究成果を活かし、健康から創薬、医療機器、再生医療などの取り組みが大学を中心とする研究機関で進められている。また、関西ではこうした研究活動を支える、数多くの関連中堅・中小企業の集積が形成されている。

さらに、関西にはバッテリーをはじめとするグリーン・イノベーション（新エネルギー・省エネルギー）分野に関連する企業の研究・先端生産拠点が多数立地している。

2 関西からの提案

（1）医療等の国際的イノベーション拠点の整備

我が国の今後の経済成長と健康長寿社会に貢献するため、関西における iPS 細胞研究をはじめとする先端医療や医療機器、次世代のがん治療法の研究から実用化、人材育成、さらに健康づくり支援等を行うための国際的イノベーション拠点形成に取り組むとともに、国の関連機関や地域間の連携を図ることにより、事業の相乗効果を実現する。

このため、国としても国家戦略として再生医療の早期実用化を図るための規制改革や、研究開発や国際医療交流に関する産学の取り組みへの重点的な支援を行われない。

① iPS 細胞をはじめとする先端医療の国際的な臨床研究拠点整備や治験等の一体的実施

- ・免疫・再生医療等の未来医療産業化国際展開拠点の整備
- ・複合医療産業拠点（研究開発〔先進医療機器・創薬・治験〕等）の整備
- ・レギュラトリーサイエンスに関する専門人材・研究基盤整備
- ・iPS 細胞を活用した再生医療の研究・医療応用の加速化
- ・革新的創薬の開発（中枢神経系制御薬、抗体・核酸医薬、がんワクチン等）
- ・角膜細胞移植治療の実用化と国際展開

② 粒子線や次世代がん治療法 BNCT の国際医療研究拠点の整備及びがん医療機器等の開発

- ・陽子線・重粒子線がん治療機器、次世代がん治療法 BNCT の国際医療研究
- ・低侵襲のがん医療機器と Body-GPS（人体内臓器の空間座標追跡磁気センサー）を含む手術ナビシステムの開発
- ・分子追尾 X 線治療装置等の開発

③ 医療技術移転のための国際医療交流の展開

- ・外国人医師修練制度の緩和、医療通訳育成支援 等

④ ICT 等を活用した医療情報等の活用及びヘルスケア・健康サービス等の展開

- ・ICT 基盤を活用したスマートグリッドとヘルスケアの融合によるスマートライフの構築及びライフサイエンス分野の拠点整備
- ・ICT を活用した健康診断情報の蓄積・共有化（先制医療・機能性食品開発等）
- ・個人医療情報の医療研究への活用
- ・新たな医療・健康管理機器及び健康支援サービスの開発、パッケージ化、展開

⑤ SPring-8、SACLA、「京」などの先端科学技術基盤を活用したシミュレーション創薬の推進

⑥ 国関連機関の関西での機能拡充

- ・PMDA-WEST の先端医療分野を中心とした機能拡充
- ・MEJ（メディカル・エクセレンス・ジャパン）の関西での機能拡充
- ・日本版 NIH の関西への設置

（２）官業の民間開放の先駆的な推進（規制改革、税制等制度提案）

薬事法の改正や規制改革により、従来官業として進められていた領域の民間開放の実現と、新たな市場への民間企業の参入や民間企業による第三者認証など民間企業による新たなサービスの創出が期待されている。

こうした取り組みを促進するため、①健康食品②高度管理医療機器③次世代電池等の第三者認証の拡大を強力に進められたい。

また、SPring-8、SACLA、京など国が有する最先端科学技術施設の民間利用の拡大を進めるため、利用制度の見直しを図られたい。

さらに、民間企業のさらなる参画を促進するため、大胆な法人税制の軽減やベンチャー等への税制支援を図られたい。

① 健康食品の第三者認証拡大

- ・ 機能成分の解析及び機能性食品の開発（農産物、糖尿病の予防・治療、薬草の活用）
- ・ 健康食品の機能性表示認証

② 高度管理医療機器の第三者認証拡大、国際展開・国際医療交流

- ・ 医療機関・対象疾病を限定した保険外併用療養制度
- ・ 高度管理医療機器等の第三者認証拡大、国際展開・国際医療交流
- ・ 粒子線治療装置、BNCT など世界最先端の医療機器の海外展開促進

③ 次世代電池等の安全性評価に関する第三者認証基準創設と拡大

- ・ 電池の安全性・性能評価、認証基準の創設
- ・ 次世代電池及び電池関連部材の開発・次世代電池評価センターの設置

④ シミュレーション創薬のための最先端科学技術基盤の民間利用の拡大

- ・ SPring-8、SACLA、「京」等の最先端科学技術基盤を活用した人材育成や技術開発の促進

⑤ 企業版エンジェル税制・ベンチャー企業に対する出資への税制支援・大胆な法人税の減税